

「おいしさと笑顔がつどうみなとまち塩竈」を体感！ みなと塩竈・ゆめ博く食・物産く

10月に開催される「みなと塩竈ゆめ博」まであと1カ月に迫りました。

塩竈を盛り上げるべく、「海」食・物産「歴史・文化」の各部会でイベントの企画・準備などが進められています。

今月号では、マグロや地酒などの特産品を使った「食・物産」のイベントにスポットを当て、ご紹介いたします。



▲模擬セリ体験(どっと祭)



メインイベント

どっと祭

サブイベント

ひがしものまぐろ祭り
(市内寿司海道加盟店にて)
笹かまぼ焼き体験
ひがしものと秋の地酒を楽しむ会
塩竈の醍醐味
月見カフェ など



▲マグロ解体ショー(塩竈の醍醐味)



▲笹かまぼ焼き体験



「食・物産」部会
仲卸朝市委員長
早坂 定雄さん
(丸吉 早坂商店取締役社長)

塩竈には豊富な食材がたくさんあります。その中でも、みなとまち塩竈の新鮮な海産物や水産加工品を堪能できるのがメインイベント「どっと祭」です。今年のだっと祭は10月3日(出)、4日(出)の2日間開催で、3日(出)には仲卸市場で働いている女性2人によるマグロ解体ショーが見れます。そのほか仲卸市場内で買物した人にハズレなしの抽選会(数量限定)などを行います。特に仙台圏の方には豊富な食材が塩竈にあることを知ってもらいたいですし、市内の人には再認識してもらいたいです。これを機に何度も塩竈に足を運んでもらえたらいいですね。

問 塩釜商工会議所 ☎367-5111

景観コラム 『景観十年、風景百年、風土千年』 おうち 往事を物語る「塩竈の古道景観」

彼岸も近づき、お墓参りをする人も多い時期ですが、月見ヶ丘霊園前の道が「野中大道」という古道であることをご存じですか。

古くから利府町の加瀬地区には、社人と呼ばれる鹽竈神社の神職が多く住んでおり、江戸中期から明治初年の記録では、社人二十九家のうち十五家が住んでいたほどです。「野中大道」は、社人が神社へ赴く道筋で、現在の加瀬野中沢から当地を通り、赤坂町内を抜け、塩釜高校校庭の鳥居原を経て、神社へ至るものでした。往事、社人ほどのような出で立ち、人数で往き来したのでしょうか。

なお、市内には、「塩竈甚句」に登場する「塩竈街道(仙臺街道)」をはじめ、ゴルフ場の松並木に面影が残る「松島街道」など、数多くの古道があります。いつも歩く道が、実はとても古いと分かると、違った風景に見えてきませんか。

【参考文献】塩竈市史本篇一・Ⅱ、利府町誌



▲「野中大道」の道筋・月見ヶ丘小学校前

問 都市計画課まちづくり推進係 ☎364-2510

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。

防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1Mhz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

【塩竈市の人口】 H27.7.31現在

住民基本台帳調べ (前月比)	
人口	55,656人 (-38人)
男	26,572人 (-15人)
女	29,084人 (-23人)
世帯数	23,007戸 (+1戸)